

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ）		
ナンバリングコード	E31203	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年 / 開講期	3 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002608	クラス名	森田ゼミ
担当教員名	森田 和子		
履修上の注意、 履修条件	授業への出席を重視します。休んだ時は課題のプリントを提出すること。		
教科書	授業の中で指示します。		
参考文献及び指定図書	奥野信宏著「公共経済学」「図説 日本の財政」日本経済新聞他。		
関連科目	前期は、公共経済学をあわせて受講してください。		

○基本情報		
授業の目的	2年次の勉強を基礎に、公共経済学についてさらに進んだ勉強をします。4年次で取り組む卒業研究のテーマを各自で設定できる力をつけ、論理的な文章が書けること、概要を口頭で発表できる力を養うことが目的です。	
授業の概要	標準的な公共経済学の教科書により基礎事項を確認するとともに、関連のある最近の経済記事を読み、その概要を担当者を決めて発表、討論していきます。3年次後期には、4年次で取り組む卒業研究の準備学習を行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自発的に取り組む姿勢を評価する。幅広い視野で将来設計を考え、目標にそった学習計画をたてる。		30点	
【知識・理解】	ゼミの資料以外にも経済、財政に関する情報に日頃から目をむけ、4年次のゼミ論文に役立つようにする。また、地域の財政および課題についても理解を深める。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	資料をもとに概要を文章にまとめたり、口頭で発表する力をつける。		10点	10点
【思考・判断・創造】	関心をもっている問題、深く調べてみたいテーマを考える。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
各回のプリントを提出してもらいます。わからなかったところは自分で調べるなどして完成させること。授業のなかでの取り組み、各自の役割を責任をもってはたすこと。 評価方法: 授業への出席と取り組み、毎回提出するプリント、後期末に提出する卒業研究計画書で評価。S評価: 専門領域を深く理解し、意欲的に課題に取り組んでいること。講義への欠席がなく、常に見通しを持って勉学を進められていること。A評価: 専門領域を理解し、意欲的に課題にとりくんでいること。講義への欠席はほとんどなく、見通しを持って勉学を進められていること。 B評価: 専門領域に関心を持ち、意欲的に課題に取り組もうとしていること。講義に欠席しても事後的に勉学を進めておこなっていること。 C評価: 専門領域に関心を持ちながら、課題に取り組もうとしていること。提出しなければならない課題を基準以上提出できていること。課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 森田 和子	授業コード	E002608
学修内容					
1. 第1週 前期オリエンテーション 3年次のゼミナール授業の説明と履修指導を行います。					
予習		各自、学修自己評価シートを記入して持参してください。			約2時間
復習		3年次に学ぶ科目の確認とゼミの年間計画を自ら考えておく。			約2時間
2. 第2週 序章 公共経済学がめざすこと 担当者が内容を報告し、全員で討論します。					
予習		公共経済学の教科書の序章を読んでおく。			約2時間
復習		序章の内容を整理する。			約2時間
3. 第3週 公共部門の役割(1) 日本経済と公共部門 担当者が内容を報告し、全員で討論します。					
予習		公共経済学の教科書の第1章 日本の公共部門を読んでおく。			約2時間
復習		日本の公共部門の分類を整理する。			約2時間
4. 第4週 公共部門の役割(2) 公共部門の規模と効率性 担当者が内容を報告し、全員で討論します。					
予習		公共経済学の教科書の第1章のつづきを読んでおく。			約2時間
復習		租税・社会保障負担と供給の効率性の関係を整理する。			約2時間
5. 第5週 公共経済学の役割(3) 政府活動と経済活力 担当者が内容を報告し、全員で討論します。					
予習		公共経済学の教科書の第1章のつづきを読んでおく。			約2時間
復習		「大きな政府」の弊害について整理する。この問題について日本ではどのような改善がみられたか。			約2時間
6. 第6週 公共サービスの供給(1) 市場の失敗と公共部門の必要性① 担当者が内容を報告し、全員で討論します。					
予習		公共経済学の教科書の第2章を読んでおく。			約2時間
復習		市場の失敗と公共財、外部性について整理する。			約2時間
7. 第7週 公共サービスの供給(2) 市場の失敗と公共部門の必要性② 担当者が内容を報告し、全員で討論します。					
予習		公共経済学の教科書の第2章のつづきを読んでおく。			約2時間
復習		市場の失敗の視点から公共部門の役割を確認する。			約2時間
8. 第8週 公共サービスの供給(3) 市場の失敗と公共部門の必要性③ 担当者が内容を報告し、全員で討論します。					
予習		公共経済学の教科書の第2章のつづきを読んでおく。			約2時間
復習		公益事業、空港等大規模プロジェクト、所得分配・資産格差の問題について理解を深める。			約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 森田 和子	授業コード	E002608
学修内容				
9. 第9週 日本の財政の現状と課題（1） 担当者が内容を報告し、全員で討論します。				
予習 「図説 日本の財政」の第1部第1章を読んでおく。			約2時間	
復習 重要点の整理と確認。			約2時間	
10. 第10週 日本の財政の現状と課題（2） 担当者が内容を報告し、全員で討論します。				
予習 「図説 日本の財政」の第1部第2章～第3章を読んでおく。			約2時間	
復習 重要点の整理と確認。			約2時間	
11. 第11週 日本の財政の現状と課題（3） 担当者が内容を報告し、全員で討論します。				
予習 「図説 日本の財政」の第2部第1章を読んでおく。			約2時間	
復習 重要点の整理と確認。			約2時間	
12. 第12種 日本の財政の現状と課題（4） 担当者が内容を報告し、全員で討論します。				
予習 「図説 日本の財政」の第2部第2章を読んでおく。			約2時間	
復習 重要点の整理と確認。			約2時間	
13. 第13週 日本の財政の現状と課題（5） 担当者が内容を報告し、全員で討論します。				
予習 「図説 日本の財政」の第2部第3章を読んでおく。			約2時間	
復習 重要点の整理と確認。			約2時間	
14. 第14週 日本の財政の現状と課題（6） 担当者が内容を報告し、全員で討論します。				
予習 「図説 日本の財政」の第2部第4章を読んでおく。			約2時間	
復習 重要点の整理と確認。			約2時間	
15. 第15週 日本の財政の現状と課題（7） 担当者が内容を報告し、全員で討論します。				
予習 「図説 日本の財政」の第2部第6章を読んでおく。			約2時間	
復習 重要点の整理と確認。			約2時間	
16. 第16週 補講 前期に欠席があり、第15週までの課題を提出していない学生のみを対象に補講を行います。				
予習				
復習				

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 森田 和子	授業コード	E002608
学修内容					
17. 後期 第1週 オリエンテーション 3年次の後期のゼミの説明と履修指導を行います。					
予習		後期の履修計画を立て、前期までの成績通知書をもとに学修自己評価シートを記入し、ゼミの時間に持参す			約2時間
復習		履修指導をもとに登録した時間割の再確認をする。科目変更をするときは、期限内に各自で修正をしておく。			約2時間
18. 後期 第2週 社会資本の整備と地域（1）九州を中心に日本各地の社会資本の整備と地域の発展についてを演習形式で学びます。最初は、明治以降建設が進んだ鉄道について。プリントをもとに、各自で調べわかったことを文章にまとめます。					
予習		公共経済学で学んだ社会資本について、もう一度確認しておく。			約2時間
復習		全国をむすぶ幹線の鉄道とローカルの鉄道について復習する。			約2時間
19. 後期 第3週 社会資本の整備と地域（2）前回に続き、社会資本の整備と地域に発展についてを鉄道にスポットを当てて研究します。戦後の高度成長期から急速に普及した自動車輸送と比較した鉄道輸送のメリット、デメリットを考えます。					
予習		経済・産業を発展させるための輸送システム、物流の重要性を考えておく。			約2時間
復習		自動車が普及しても鉄道輸送がなくなる理由を考える。			約2時間
20. 後期 第4週 社会資本の整備と地域（3）今回と次回は、鉄道にかわり輸送の主役となった自動車と道路についてを、地域の発展とむすびつけて研究する。まず、道路の種類、利用目的による分類を整理する。					
予習		全国の幹線道路がいつごろ整備されたのか調べておく。			約2時間
復習		今回、学んだことを大分の道路に適用して整理する。			約2時間
21. 後期 第5週 社会資本の整備と地域（4）前回に続き、道路に関する経済的側面を学ぶ。道路建設のための費用や利用料金、費用対効果について学ぶ。					
予習		公共経済学の教科書から、社会資本の費用と効果に関する章を読んでおく。			約2時間
復習		道路の建設がもたらす地域への効果とそのための費用の関係を整理する。			約2時間
22. 後期 第6週 社会資本の整備と地域（5）第6週と第7週は、空港を取り上げ、地域経済の発展とむすびつけて考える。空港は空の玄関口であり、国内、海外両方をつなぐ。全国に空港がいくつあるか調べ、国内の空港所在地のマップを作成する。					
予習		大分空港について調べておく。			約2時間
復習		国内空港のマップに記入したデータの見直しをする。			約2時間
23. 後期 第7週 社会資本の整備と地域（6）今回は空港の乗降客数の変化とその理由について研究する。航空は新路線の就航、撤退や、料金設定によっても旅客数が変動するので、何が要因で旅客数が変動したのか背景を知ることも重要である。					
予習		関心のある空港について、最近の旅客数の動向を調べておく。			約2時間
復習		今後、地域を発展させるためには、道路・空港それぞれにどのような課題があるかを考えてまとめる。			約2時間
24. 後期 第8週 社会資本の整備と地域（7）第8週と第9週は、海の玄関口、港を取り上げる。港は産業港としての役割だけでなく、観光港としても近年、注目されている。最初に産業港の側面から港を研究する。					
予習		九州近辺の港の位置を確認し、それをもとにマップを作ってみる。			約2時間
復習		港の社会資本としての重要性を確認する。			約2時間

○授業計画		科 目 名	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ）	授業コード	E002608
		担当教員	森田 和子		
学修内容					
25.					
後期 第9週 社会資本の整備と地域（9） 前回に続き、社会資本としての港の役割を研究する。さまざまな課題と今後の展望を考える。					
予習		港の整備状況と利用について調べる。			約2時間
復習		港の社会資本としての重要性を確認する。			約2時間
26.					
後期 第10回 卒業研究発表会 4年生の卒業研究発表会に出席し、発表を聞く。卒業研究のテーマの選び方、内容の組み立て、資料の使い方など参考になるところを学ぶ。					
予習		事前にプログラムを配布するので、目を通しておく。			約2時間
復習		発表を聞いて参考になったことをメモしておく。			約2時間
27.					
後期 第11回 卒業研究にむけた準備学習（1） これから4年ゼミの終わりまでに卒業論文を完成させ、提出するまでにどのような準備や学習をすればよいか説明する。今後は各自で計画を立て、主体的に学習を進めていくが必要になる。					
予習		これから研究したいテーマを考えていく。			約2時間
復習		テーマにそった参考文献があるかがす。			約2時間
28.					
後期 第12回 卒業研究にむけた準備学習（2） 卒業研究を個人で進めるか、3人までの共同研究にするかを考える。テーマは財政学・公共経済学のゼミであることと地域マネジメントコースのゼミであることをふまえて、これらの領域の中からテーマを設定する。					
予習		研究してみたいテーマを複数、書いてみる。			約2時間
復習		個人研究の時は一人で、共同研究の場合は他のメンバーとともに研究したい内容を考える。			約2時間
29.					
後期 第13回 卒業研究にむけた準備学習（3） 参考文献について。卒業論文は自分でテーマを決めて書くことになるが、テーマについての意見や感想を書くだけのものではなく、これまでの経緯、現状と課題、今後の展望などについてすでに研究されていることやわかっていることを調べて書く必要がある。そのため、それらを知るための参考文献が必要になる。					
予習		どのようなことを研究したいか考えておく。			約2時間
復習		研究したいテーマにそった参考文献があるか調べてみる。			約2時間
30.					
後期 第14回 卒業研究にむけた準備学習（4） 全体の構成と発表資料の作り方。論文をつくるためには、研究して調べてわかったことを、いくつかのかたまりにわけてみる、そしてそれらをどのような順番で書いていくのかを検討することが必要です。本文のほかに、発表はパワーポイントの資料をつかって行います。					
予習		どのようなことを研究したいか考えておく。			約2時間
復習		研究したいテーマにそった参考文献があるか調べてみる。			約2時間
31.					
後期 第15回 卒業研究にむけた準備学習（5） 研究倫理教育。研究を行う上で守らなくてはならないルールについて。特に大切なのは、他の文献などから引用した時に、その箇所について注をつけることです。注とは何かの説明。					
予習		研究したいテーマについての参考文献が見つかったら、少し読んでおく。			約2時間
復習		参考文献の中で参考にしたところには、付箋をつけておく。			約2時間
32.					
予習					約2時間
復習					約2時間